

京都銀行 ミニディスクロージャー誌 2021年9月 中間決算のご報告

The Bank of Kyoto, Ltd.



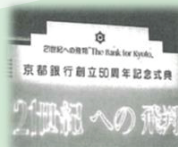
1941.10
創立時の本店



1953.8
京都市移転後の旧本店



1971.10
創立30周年記念式典



1991.10
創立50周年記念式典



80th
2021.10

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動をおこなってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会的課題の解決に貢献してまいります。



ごあいさつ



みなさまには、平素より京都銀行をお引き立ていただき、まことにありがとうございます。

さて、2021年度上半期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に翻弄されながらも、経済活動の通常モードへの復帰を探る動きが続く展開となりました。この間、個人消費がサービス関連を中心に低調に推移したものの、企業の生産活動は輸出回復とともに徐々に持ち直しました。後半にかけては、ワクチン接種の進展とともに経済活動本格化への道筋が見え始める一方で、半導体不足の長期化、部品供給の停滞、原油高などが次第にリスク要因として意識され、それまでの改善テンポは鈍化し期待と不安が交錯する中で期を終えることとなりました。

さて本年10月、当行は創立80周年の大きな節目を迎えることができました。創立以来、経営理念に「地域社会の繁栄に奉仕する」を掲げ、地域のみなさまのお役に立てるよう取り組んでまいりました。地域を取り巻く経済社会は、新型コロナウイルスによる影響で依然厳しい状況が続いていますが、こうした状況だからこそ、当行

の金融機能を最大限発揮することで、企業の資金繰り支援にとどまらず、販路拡大やデジタル化促進などさまざまな本業支援にも取り組んでいます。

このような環境のもと、当行では、第7次中期経営計画「Phase Change 2020」(2020年度から3か年)の折り返し点にあたり、コロナ対応をはじめ、昨今急速にニーズが高まっているSDGs経営への対応など、地元中小企業が抱える課題を共有し、その解決に向けて共に知恵を絞り、あらゆる角度からサポートしております。

京都銀行グループでは、地域経済の回復に向けて、持てる金融機能を最大限発揮することで、その使命を果たしてまいりますとともに、引き続き企業価値の向上に取り組むことで、幅広いステークホルダーのみなさまのご期待にもお応えしてまいります。

なお最後となりましたが、中間配当金につきましては、普通配当30円(前年実績同額)に創立80周年記念配当5円を加えて、1株につき合計35円とさせていただきます。

みなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2021年11月

取締役頭取 土井 伸宏

サステナビリティ経営

「経営理念のより一層高いレベルでの実践」と位置付けるサステナビリティ経営を推進し、持続可能な社会の実現に向けた具体的な取り組みを進めることで、当行の経済的価値と社会的価値を高め、長期持続的に企業価値を高めてまいります。

当行のサステナビリティ経営

京都銀行グループの経営資源をいかして、

- 長期持続的に企業価値を向上する
※企業価値＝経済的価値(時価総額、ROEなど)＋社会的価値(SDGs、ESGなど)
- 長期持続的にステークホルダーの期待に応える
※ステークホルダー＝お客さま、従業員、地域社会・環境、株主・投資家
- 持続可能な社会の実現に貢献する

経営理念の
より一層高いレベルでの
実践

長期持続的な企業価値向上のため、
さまざまな取り組みを進める

【取り組みの重点テーマ】

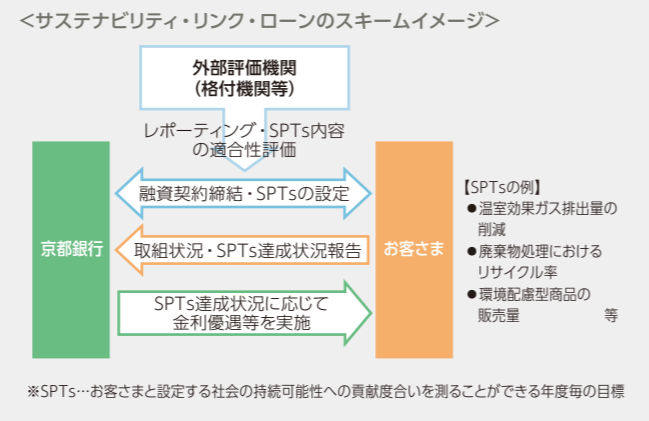
- 地域経済の活性化
- 安心・安全・便利な金融サービスの提供
- 金融リテラシーの向上
- 環境負荷の軽減
- 全従業員の活躍支援

地域経済の活性化、環境負荷の軽減

●サステナブルローンの取り扱いを開始

お客さまのサステナビリティの取り組みを金融面から支援する3種類の融資商品の取り扱いを開始しました。本商品では、お客さまの取り組みや資金を充当するプロジェクト等が国際的な基準に適合していることを、外部評価機関が評価するため、お客さまのサステナビリティの取り組みをアピールすることができます。

名称	京銀サステナビリティ・リンク・ローン	京銀ソーシャルローン 京銀グリーンローン
特徴	お客さまのESG戦略と整合した目標(SPTs)を定め、その達成度合いに応じて金利引き下げ等のインセンティブを設定する仕組みの商品です。お客さまの取り組みやSPTsの水準等についての評価を、外部評価機関から取得できます。	資金用途を社会的課題や環境問題の解決に貢献するプロジェクトに限定した商品です。当該プロジェクトによる効果やその進捗についての評価を、外部評価機関から取得できます。



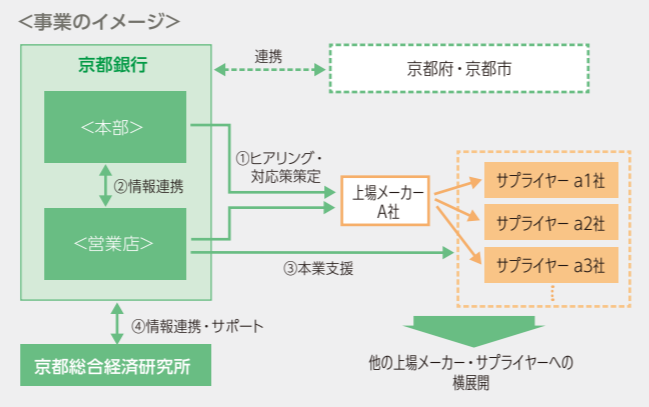
●「ESG地域金融促進事業」支援先機関に採択

京都企業と連携し、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルをはじめとするサステナビリティの取り組みを推進する枠組みづくりを開始しました。この取り組みは「令和3年度ESG地域金融促進事業」の対象として環境省の支援を受けております。

なお、本年度近畿地方の金融機関での採択は当行のみとなっております。

【採択された事業の概要】

当行のお取引先企業ネットワークを生かし、京都企業のサプライチェーン全体でサステナビリティの取り組みを促進することで、地域企業全体で競争力の維持・向上を図る取り組みです。その取り組みの一つとして、京都全体での「温室効果ガス排出量ゼロ」の実現に向け、地域金融機関として役割を果たしてまいります。



地域経済の活性化

●海外ビジネスコンサルティングの強化

海外進出や海外での事業拡大を図るお客さま向けに情報提供コンテンツ「海外ビジネス情報サイト」を開設しました。

また、販売・調達先調査や進出・撤退調査等をおこなう事前調査、現地法人実査・管理や協力企業調査をおこなう現地法人管理の受託を開始しました。

4つの海外駐在員事務所や11の提携海外金融機関の海外ネットワークにより、お客さまの海外進出や海外取引をサポートしてまいります。

【海外駐在員事務所】

- 香港 ●上海 ●大連 ●バンコク (開設日順)



●人材紹介業務の強化

2020年から開始した人材紹介業務をさらに強化するため、2021年度上期は新たに5社の人材紹介会社との業務提携をおこない、多岐にわたるお客さまの人材ニーズにお応えできるよう取り組んでおります。

当行は内閣府「先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者にも今年度も採択されており、人材紹介業務を通じて、地域の発展と成長に貢献できるよう取り組んでまいります。

安心・安全・便利な金融サービスの提供

●対面チャネルの強化

専門拠点の新設や店舗のリニューアルを通じて、お客さまとの接点の維持・強化を図っております。

新たな専門拠点として、デジタルサービス拠点「京銀デジタルコネクト左京」と個人コンサルティング特化拠点「相続・資産承継ご相談プラザ京都北」を設置しました。

また、河原町支店新築の際には、地域のニーズに応える形での店舗・設備の有効活用に取り組みました。

【京銀デジタルコネクト左京】

お客さまに当行が提供するデジタルサービスを「体験」「学び」「活用」していただけます。



【相続・資産承継ご相談プラザ京都北】

本部の専門スタッフが常駐し、相続・資産承継に関する総合的なご相談等をしていただけます。



【河原町支店】

地域のニーズを踏まえ、銀行店舗の上階にホテルを併設する形で新築しました。

●デジタルサービスの充実

個人のお客さま向けサービス「京銀アプリ」を全面リニューアルしました。

今回のリニューアルでは、貯蓄目的ごとに計画的な貯蓄ができる「目的別預金サービス」の追加、振込等のバンキング機能の拡充や京銀ダイレクトバンキングとのシームレスな連携等を実現しました。加えて、画面デザインの刷新、「シンプルモード」の追加等視認性と操作性の向上を図りました。



【主なリニューアル内容】

- 1 目的別預金サービスの追加**
住宅購入や旅行費用等、お客さまご自身で貯蓄目的や貯蓄目標額を設定し計画的に貯蓄いただけます。自動積立の設定や、アプリによる資金の移動に加えて、ご家族やご友人と貯蓄目的を共有して積み立てることも可能です。
- 2 バンキング機能の拡充**
振込や税金・公共料金の支払い等の手続きをアプリ内で完結できるようになりました。
- 3 ダイレクトバンキングとのシームレス連携**
アプリからダイレクトバンキングにログインしなおすことなく、ダイレクトバンキングの各種サービスをご利用いただけます。

その他にも大幅に機能を拡充しております。詳しくはHPをご覧ください。



●金融リテラシーの向上

●金融教育プログラムの実施

「金融教育のデジタル化」としてタブレット端末等デジタルツールを活用した大学生向け金融教育を開始しました。

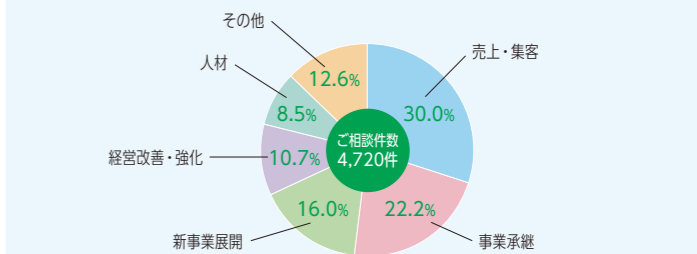
その第一弾として、京都女子大学の学生を対象に、ライフプランシミュレーション、資産形成の必要性や具体的な方法等を紹介する金融教育プログラムを、「京銀デジタルコネクト左京」にて実施しました。



新型コロナウイルス感染症による影響への取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けておられるお客さまに対し、資金決済や事業資金の支援にとどまらず、ウィズコロナ社会を見据えたお客さまの本業支援にも取り組んでおります。

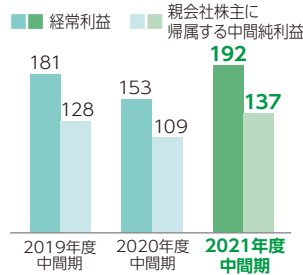
【コロナサポートチームが対応したお客さまの課題】
(2020年6月～2021年9月)



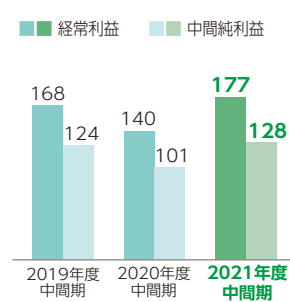
コロナサポートチーム…営業店と一体となり、お客さまの課題に対して総合金融コンサルティングによる本業支援をおこなう本部組織を横断したチーム。

業績ハイライト (単位: 億円)

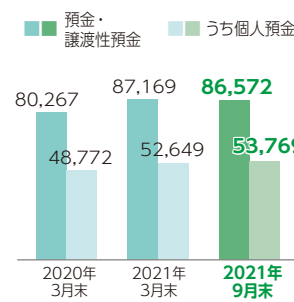
● 経常利益・親会社株主に 帰属する中間純利益(連結)



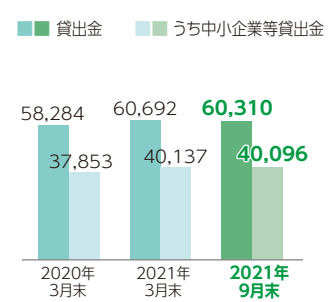
● 経常利益・中間純利益(単体)



● 預金・譲渡性預金



● 貸出金



配当金・株式の状況・ご案内

● 配当金のご案内

第119期中間配当金につきましては、普通配当30円に創立80周年記念配当5円を加え、1株につき35円としております。

● 株式の状況 (2021年9月30日現在)

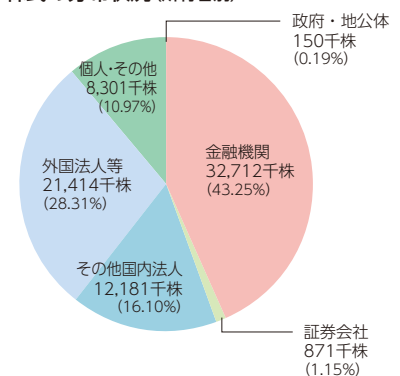
● 発行済株式総数 / 75,840千株 ● 株主数 / 9,005名

● 主要株主 (上位10名)

株主の氏名又は名称	(持株数: 千株)	(持株比率: %)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,829	11.67
日本生命保険相互会社	2,730	3.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,698	3.56
東京海上日動火災保険株式会社	2,537	3.35
明治安田生命保険相互会社	2,500	3.30
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	2,134	2.82
京セラ株式会社	1,596	2.11
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	1,574	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・オムロン株式会社口)	1,528	2.02
住友生命保険相互会社	1,318	1.74

(持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除のうえ算出し小数点第3位以下を切り捨て)

● 株式の分布状況 (所有者別)



● 株式のご案内

● 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

● 剰余金の配当基準日

期末配当 3月31日、中間配当 9月30日

● 定時株主総会

毎年6月(定時株主総会の基準日 3月31日)

● 1単元の株式数

100株

● 公告方法

電子公告

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および京都新聞に掲載いたします。

● 株式事務取扱場所

株主名簿管理人(特別口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同 事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 | 各種お問合せ先 TEL 0120 (094) 777

各種お手続きについて 住所変更、配当金受取方法の指定、変更、単元未満株式の買取請求などのお手続きは次のとおりとなります。
一般口座(証券会社の口座)に記載された株式 お取引の証券会社にお問い合わせください。
特別口座(三菱UFJ信託銀行の口座)に記載された株式 上記の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

会社概要・グループ会社 (2021年9月30日現在)

● 会社概要

名称	株式会社 京都銀行 / The Bank of Kyoto, Ltd.
本店所在地	京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地
創立	1941年(昭和16年)10月
総資産	12兆5,330億円
預金・譲渡性預金	8兆6,572億円
貸出金	6兆310億円
資本金	421億円
格付け	A (R&I) A- (S&P)
従業員数	3,525人
拠点数	195か所
[内訳]	本支店(※) 168・出張所6・ローン営業部10・法人オフィス2・移動店舗車1 海外駐在員事務所4(香港・上海・大連・バンコク)・その他4 (※) 店舗内店舗6・ネットダイレクト支店1・振込専用支店1を含む

● グループ会社

● 連結子会社(7社)

烏丸商事株式会社
京都信用保証サービス株式会社
京都クレジットサービス株式会社
京銀カードサービス株式会社
京銀リース・キャピタル株式会社
株式会社京都総合経済研究所
京銀証券株式会社

● 持分法適用関連会社(1社)

スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社

2021年11月発行